

中国帰国者の歴史、今、これからを考える

戦後70年が過ぎて戦争の記憶が薄まる中、今一度、中国残留邦人等の歴史的背景を知り、中国帰国者の現状をふまえ、帰国者自身が活躍できる地域とのつながりや支え合いについて考えます。

日時：平成29年2月12日（日曜日）

午後1：00～午後4：00 [12：30受付開始]

場所：レソラNTT夢天神ホール（福岡市中央区天神2丁目5-55）

参加費：無料

主催：九州中国帰国者支援・交流センター

後援：福岡県・福岡市（依頼中）

申込方法：申込用紙に必要事項をご記入いただき、FAX、
電子メール、郵送でお申し込みください。

～ プログラム ～

☆ 挨拶

☆ 中国残留邦人の歴史と現状

☆ 講演

○「長年の残留婦人等の一時受け入れ等
支援について（仮題）」

講師：桑田 寿満子 氏
元中国残留婦人交流の会副会長

○「支えられる側から支える側へ」

講師：王 榮（木下 貴雄）氏
NPO 東海外国人生活サポートセンター代表

☆ 1世の体験談（インタビュー）

☆ センター交流講座等の発表
（太極拳、歌、踊り等）

桑田寿満子氏 紹介

昭和61年に小学校教諭を退職。

平成元年から福岡県中国残留婦人交流の会にて活動。
平成27年3月に会が解散するまで、一時帰国者の自
宅受け入れを行ってこられた。

現在、福岡県中国帰国者自立促進協議会理事。

王榮（木下貴雄）氏紹介 [帰国者2世]

旧満州（中国東北部）生まれ。残留孤児だった父と
共に17歳で帰国。愛知大学卒業後、あいち医療シス
テム通訳養成1期生となり、外国人が安心して希望
をもって暮らせるよう支援をしたいとの思いから有
志と共にNPOを設立。

